

出雲エコなび

発行：出雲市省エネルギービジョン推進協議会（環境政策課内）

☎ 21-6987 / FAX 21-6597

ごみ減量はみなさん一人ひとりが主役です

現代社会は大量生産・大量消費の物質的に豊かな社会となった反面、使い捨ての生活が当たり前になっています。

しかし、埋立処分場の残存容量や自然環境への負荷を減らしていくために、これから「いかにしてごみをつくらない・出さない生活をするか」を考えることが大切です。そのために行えることは何でしょう。

家庭でできるごみ減量化と言え、まず「リサイクル」を連想しがちですが、その前に「不要なものを買わない、もらわないこと」が第一です。

例えば、本を買ったときに付けてくれる紙のブックカバーや紙袋。なくても何の不便もないのですが、ついそのまま持ち帰ってしまいがちです。これを古紙回収に出してリサイクルするよりも、最初からもらわないようにするこ

とが大切です。



次に、一度、手に入れたものを繰り返し使うことです。例えば、ペットボトルも捨てればごみですが、家庭で作った麦茶などを入れたり、花への水やり用の水入れなどとして何度も利用すればごみにはなりません。

不要なものを買わない・もらわない、繰り返し使うことを実践し、最後に「リサイクル」しましょう。どうしても捨てなければならぬものは、できるだけ資源として再利用できる形で捨てればごみが減ります。ごみの減量には、みなさんの意識と実行が欠かせません。

ごみの内容は家庭ごとに異なりますから、みなさんのご家庭でも、家族で話し合ってみてください。

電力測定器で電力使用量、電気料金を測ってみよう

節電をするうえで、普段使っている電化製品の電力使用量や電気料金を知るのとても大切なことです。そして、そんなときに役立つのが、「電力測定器」です。

測定したい電化製品のプラグにつないでコンセントに挿し込むだけで、使用した電力量や待機電力、電気料金などを簡単に確認することができます。

昨年度貸出をしたご家庭からは次のような感想をいただきました。

・冷蔵庫の温度設定や開閉回数、種類によって電力使用量が違うことが分かった。

・電力量の多いポットの使用をやめた。

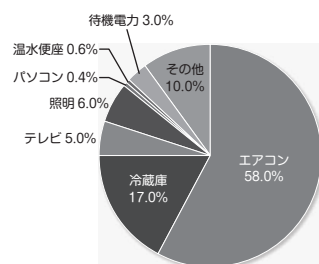


コンセントに挿し込むだけでエアコンの使用電力量がわかる！

夏の昼間に家庭で使用する電化製品のうち、エアコンの占める割合は5割以上になることもあります。当協議会では、エアコン用の電力測定器や、パソコンに接続して電力使用量を記録できる電力測定器などの貸出をしています。毎日の節電にぜひご利用ください。

なお、貸出には申し込みと使用後の報告が必要です。詳しくは、協議会事務局（環境政策課）までおたずねください。

夏の昼間(14時頃)の電気機器の使用例



出展：国家戦略室
第8回エネルギー・環境会議 資料3

緑の募金

ご協力をお願いします



緑の募金とは

きれいな空気、おいしい水、心身の癒し、地球温暖化の防止など、森林はわたしたちの豊かな生活を支え、多くの恵みを与えてくれます。しかし、いま国内では手入れ不足等によって森林が本来のはたらきを発揮できていません。また、砂漠化等による地球規模の森林の減少・劣化もいまなお続いています。

そのため、森林の整備や緑を増やすことを農山村の人々や専門家に任せるだけでなく、一人ひとりが森林や緑を自分たちの共通財産と考え、それぞれの立場で、可能な方法で、森づくりへ参加することが必要だと考えられました。

こうして昭和25年に「緑の羽根募金」運動が始まり、平成7年には「緑の募金」と改められました。緑の募金は、誰もが参加できる森林ボランティア活動なのです。



島根県や出雲市では

緑の募金は、各都道府県ごとに行われていて、島根県の募金額は中四国地域最大です。また、家庭募金の割合が高く、募金額の91%を占めています。

市では、毎年春に自治会・町内会等を通じて各ご家庭に募金をお願いしています。皆様のご協力により、平成25年度は、市だけで約750万円、県全体では3,500万円余りが集まりました。これらの浄財は、さまざまな「森づくり・人づくり」活動に活かされています。

個人としての、また企業等の団体としての募金も歓迎します。より多くの皆さんの「緑の募金」への参加が得られ、国民全体で森林を守り育てる運動として発展できますよう、ご理解ご協力をお願いします。

イベントでサツキの苗木を配付 募金活動も同時に行いました



(稗原森のコンサート実行委員会)

植栽による北山の再生

地元の小学生も参加しています



(逢堀地区松くい虫等被害・斜面防災対策協議会)



身近な「緑の募金」の活用事例

◆「緑の少年団」活動

県内小中学校における「緑の少年団」の育成・活動支援

〔例〕環境学習、野外活動等

(平成25年度：市内11団体)

◆「緑の募金公募事業」の実施

自治会・NPO・ボランティア団体等による、森林整備、地域の緑化活動、啓発イベント等へ支援

〔例〕松枯れ跡地や公共広場への植樹、

イベントでの苗木配付、緑化啓発講演会等

(平成25年度：市内21団体)

おたずね/森林政策課 (☎21-6996)